

事業評価シート

担当課・室長：環境リスク評価室長

事業名	体系的な環境リスク評価の推進
上位施策名	化学物質対策
1 事業の概要	<p>本事業は、PRTR 対象物質（注）について、体系的に人の健康及び生態系への影響に関するリスク評価を推進するものであり、具体的には次の事業を実施している。</p> <p>化学物質の人及び生態系に対する有害性の評価を行うとともに、暴露量の評価を文献及び実測に基づき行い、これらの結果をもって化学物質の環境リスクの評価を行う。</p> <p>PRTR 制度により得られる化学物質の排出量データをリスク評価に活用するための手法の開発等を行う。</p> <p>注）農薬である化学物質のリスク評価は、「7（2）環境リスクの管理」の中の「農薬の環境リスク対策」で行われている。</p>
2 進捗状況	<p>平成9年度から環境リスク評価を試行的に実施しており、12年度までに調査を行った39物質について現在、評価結果の取りまとめを行っている。この結果を踏まえ、PRTR 排出量データの得られる14年度までに、可能な限り PRTR 対象物質の有害性に関する情報の収集整理等を行う予定。</p> <p>PRTR 排出量データを活用した濃度予測システムの開発を実施しており、14年度には排出量の多い物質等についてデータを用いた評価を可能とする予定。</p>
3 評価	<p>平成9年度から実施してきた試行的な環境リスク評価から得られた成果は、物質数の点では必ずしも多くはないが、今後のリスク評価の効率化・加速化を可能とする経験として活かせるものとする。</p> <p>特に、人に対する有害性の詳細な評価には多大な時間を要することから、これまでの経験と実績を踏まえ、内外の知見を最大限に活用しつつ、数多くの PRTR 対象物質のリスク評価を効率的かつ迅速に実施する方法を検討する必要がある。</p> <p>また、PRTR データ公表時に可能な限りリスク評価が実施できるように、その前に必要な情報収集と手法開発を効率よく行う必要がある。</p>
4 予算事項名	<ul style="list-style-type: none"> ・人に対する有害性評価等事業 ・生態影響試験実施等事業 ・暴露評価等事業 ・生態影響試験法標準化検討調査 ・化学物質リスクアセスメント基礎調査
5 対応副施策等	